



2015年1月号

リップ ローカル インフォメーション ペーパー  
LIP (Local Information Paper) とは……

ひらかたしめんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう  
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

じょうほう けいさい ちいきみちやくがたじょうほうし  
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。



◆ [作家 鶴島緋沙の もぐらの目 41]

白熱教室「男と女」いや「女と男」

◆ 知ってますか? ゲストハウスの魅力♪

◆ 「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判 第2回公判傍聴に行きました。

◆ 今月の五行歌

◆ イベント紹介 ◆ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: [lip@love-dugong.net](mailto:lip@love-dugong.net)

TEL: 070-5653-6913 (18時以降) FAX: 020-4665-8668

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)

「もぐらの目」〜四十一〜

鶴島緋沙子

## 白熱教室「男と女」いや「女と男」

『大阪府高齢者大学校「エッセー文学科」の講師を務めて三年になる。』

この「科」は、私の孫娘のような奈良女子大の向村九音先生と二人で、一年間を受け持つことになっていて、アカデミックなレクチャーは彼女にお任せで、私は、専ら実作を担当し、受講生の皆さんの意見を聞きながら毎回テーマを決め、八百字から千字までの文章を書いてもらい、添削したり感想を書いたりするのである。その他に、いろいろなことをお世話してくださるクラスディレクターの谷内さんと、受講生から選ばれた野中委員長がいっぱしやる。

人生の三分の二以上を生きてきた人達の、様々な思想、情熱、希望、あるいは、苦悩、絶望、そして避けられなく近づく死への実感

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」や、「私の中げの瀬戸内寂聴」(いずれも、つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」講師。「同大学同窓会枚方・寝屋川・交野合同」の「文章講座」講師。また、「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表です。「もぐらの目」は、隔月連載の予定。これまでの連載をまとめた著書「もぐらの目」が、つげ書房新社から刊行されています。

などを、言葉ではなく、

文章にするのはしんどいことだろうが、それだけに、書かれた作品

を読ませて頂くと、文章の巧拙はともかく、

一人一人の人生の切片が短文の中から立ち上が

がってきて、私を涙や驚き、怒りや失望、悦び、時には笑いの世界に誘ってくれる。

四十人ばかりの、生まれも育ちも学歴も仕事も違う道をそれぞれ歩んできた六十、七十、八十、九十歳代の、ちょうど男女半々の人達の文章を読ませて頂けるのは、役得とは言え同時代を生きてきた私にとっても、とても楽しいものになっている。

さて、この学校には、「歴史」あり、「園芸」あり、「語学」ありと、あらゆる分野のクラスが六十ほどある。それぞれに専門の講師があられて、平日は、午前九時台になると、JRや、地下鉄の森ノ宮駅からは、リュックを背負ったり鞆を肩にかけたり、時には杖を付いたり、車椅子での、むかし若者たちの、生き生きした通学の列が続くのである。

その各クラスで、年に一度、『白熱教室』というものを持つことになっていて、皆でテーマを決め、喧々諤々の討論をすることになっている。時々、テレビで見えるハーバード大学の、それにも負けじとも劣らんと言わんばかりの、意気だけは満々である。

わが実作教室の今年の題は、「男と女」という、生き物の本質、殊に文学にとっては永遠



に終わりのないテーマで、迫ることになった。

私は、「司会、進行」者ということで、「全員発言」を条件に聞き役に回ったが、受講生の目は、過日出した、文章の題「恋」の時にも増した輝きに満ち、最初は遠慮がちだった面々の口から出る言葉が、この時とばかりに、次第に熱を帯びて教室内を行き交った。曰く「女性の方が人間として上である。女性は芝居がうまい。どんな時でも顔色を変えない。男は、損をしている。男社会は、長い時間がかって男が勝ち取ったのに、今、女性に取られている」「私はお父さん子でした。夫には失望しました」「日頃、女は損だと思っていたことも深く考えたらどっちもどっち、どうでもよくなりました。今を生きるしかないです」「所詮この世は男と女、仲良くしましょう」などなど。後半は正に白熱だったと、皆で自画自賛。最後に、私の小学校、高校の先輩で、素敵な作詞、訳詞家だった故岩谷時子さんの、珍しく演歌調で、園まりが甘く悩ましい声で歌った、うんと艶っぽい「逢いたくて逢いたくて」の一節を紹介して白熱教室「女と男」の締めとしよう。『愛した人はあなただけわかってるのに心の糸が結べない ふたりは恋人 好きなよ 好きなよ くちづけをしてほしかったのだけど 切なくて 切なくて 涙が出

てきちゃう』私も何だか胸、どきどき。



「子どもと一緒に奈良のゲストハウスに泊まってきたの。楽しかったよ〜！」お友達からそう聞いて、「ゲストハウスって、何？」——素泊まりで、一泊3千円程度から、気軽に安心して泊まれる宿だそうです。11月号掲載のユースホテルとほとんど同じで、違いは、ユースホテル協会に所属しているかどうかだそうです。ゲストハウスの魅力を、メールで伝えてもらいました。(LIP編集部 とよたか)

### ★いろんな人と知り合える！★

ゲストハウスに泊まろうと思ったのは、自分が一人旅してた時のように旅がしたかったのと、子どもにはいろいろな年代の知らない人と同じ部屋で寝て、周りに気を遣ったり、いつもとは違う不自由さを体験したり、異文化の人たちと触れ合ってコミュニケーション能力を高めてほしいとか、そう思ったから。それになんといっても、普段話すことのない人たちと触れ合うことで、こんな生き方もあるんだと参考にさせてもらったり、～しなければならない的な、

ゲーム中にあまり話しかけたら悪いから、とアプリではあまり話ができませんでした。結局お互い英語でちょっと話しただけ。やっぱり英語は話せた方がいいですね。私が宿泊した日は、あと6カ国くらいからの宿泊客がおられました。

日本人は(というとおかしいですが……)東京で中学の先生をしてはる話好きの男性や、福島大学の学生さんが夏休み中奈良の大学で学ぶのにゲストハウスから通学されていたり、旅館の仲居さんをしてる人が「お世話される方の立場になりたいと思って、初めてゲストハウスに来たら、自分でシーツをセットしないといけなかった！」というお話をされていて、面白いなあとしたり。大学生と仲居さんは昔茶道部に入部していたそうで、中学校で茶道部にいる私の娘とも共通の話題があって、楽しそうに話していました。

### ★パジャマなどは持参、シーツ交換は自分で！★

ゲストハウスの部屋には、男性ドミトリー(※)、女性ドミトリー、男女ドミトリーがあり、宿によっ

## 知ってますか？ ゲストハウスの魅力♪

自分の中の古い価値観を揺さぶられたりと、新鮮な気持ちを味わえるから。奈良に行こうと思った理由は、車でサッと行って、結構ゆっくり観られないまま帰宅するパターンが多かったので、ゆっくり観光したかったからです。

子どもと一緒に、「奈良バックパッカーズ」というゲストハウスに泊まりました。大正時代からの日本家屋で、お庭がとてもキレイでした。

外国の人がたくさん泊まっていました。チャンスがあれば外国の人とお話しようと思って、通訳アプリを使おうとタブレットを起動！でも、その場で入力しながらだと時間がかかって話にくい。グループで来てるスペイン人がトランプをしていたので、

では個室があったりします。私は、女性ドミトリーに泊まるようにしています。いろんな人がいるから、貴重品の管理には気をつかいます。小さなコインロッカーみたいなものがある宿もあります。

ゲストハウスの魅力は、知らない人と話ができること。個室に泊まっても、一緒に過ごせるリビングやロビーのようなところがあります。逆に、人と一緒に寝ることに慣れていない人は、嫌かも。個室でも古い日本家屋のところだと、ふすま一枚隔てて隣の部屋の音が丸聞こえだったりします。布団またはベッドのシーツは自分で敷き、バス、トイレは共用。タオルはレンタルできるところもあります。

ゲストハウスでは食事が出る場所は少ないです。私は夕食は外で食べて、朝食はパンを買ったりしますが、自炊も可能です。調理器具や冷蔵庫があり、自分の名前を書いて食材を冷蔵庫に入れておくこともできます。

ユースホテルは残念ながらどんどん減っていますが、ゲストハウスは全国でも少しずつ増えていっているようです。

(佐藤仁美)

(※)ドミトリー：一室4〜10人泊まる、相部屋です。参考：インターネットで検索すると、全国のゲストハウスの所在がわかります。たとえば

<http://j-hoppers.com/guesthouse-listing.html>



# 「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判 原発賠償関西訴訟の第2回公判傍聴に行きました

12月4日大阪地方裁判所で、原発賠償関西訴訟の第2回公判が行われました。この裁判は、2011年3月の福島原発事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対して、被害の完全賠償をさせること、事実関係を明らかにして、事故の真相究明を行うことを、訴えている裁判です。LIP10月号では、第1回公判についてお伝えしました。

## 今度は傍聴できる……？！

冷たい雨の降る師走の木曜日。午後1時、大阪地方裁判所に行くと、正面玄関にはすでにたくさんの方が集まっていました。傍聴希望者が多数の場合、パソコン抽選券が配られ、開廷半時間前に抽選が行われ、傍聴できる人の番号が貼り出されます（\*）。9月の第1回公判で知り合った方を見つけて挨拶したり、友人に出会って話をしているうちに、原告団が入廷。拍手して、「がんばって〜！」と叫びました。前回原告団を追ってきたマスコミのビデオカメラは、今回一台もありません。

傍聴を求めて集まったのは、146人。私も友人も抽選結果は「外れ」でしたが、券を譲っていただいて、傍聴できることになりました。

正面玄関から階段を上ってすぐの、2階大法廷201号室に、午後2時の開廷ぎりぎりに駆け込んだら、空いていた席は最前列。目の前にバー（柵）があり、その向こうが法廷です。正面の一段高いところにある大きな背もたれのついた椅子に3人の裁判官が着席して、第2回公判が始まりました。



氷雨のなか、傘をさして原告団が入廷。

## 法廷に響きわたる、避難者の生の言葉

準備書面の提出に続いて、原告側の口頭弁論。まず福島第一原子力発電所から65kmのところに住んでいた原告の方のお話を聞きました。地震で住居が壊れ、原発から40kmのところにある実家に、夫や子と共に避難。原発が爆発しましたが、住民票がないため、放射線障害予防のための安定ヨウ素剤ももらえません。「少しでも原発から遠いところに」と全壊した自宅に戻ったのですが、後で、原発に近い実家より、自宅の方が、放射線量が数倍高かったことを知りました。風向きで放射性物質がどの方向に飛散するか、予想でわかっていたことを、国は一切公表しなかったのです。「こんなところに住めない！」避難を決意したものの、それまでの移動で車のガソリンがなくなり、どこにも売っていない。ビニールハウス用の燃料を譲ってもらい、新幹線の通じている駅まで、夫に車で送ってもらったけれど、仕事と全壊の家があるので、避難するのは母子だけ。夫と会えるのは、今この瞬間が最後かもしれない。そう思う横で、



京阪電車・淀屋橋駅または北浜駅から徒歩約10分のところに、大阪高等・地方・簡易裁判所があります。

新幹線に乗れる、と1歳の息子が無邪気に喜んでるのが、切なかった……。話を聞いて、涙が出ました。

原発事故は、それまで人々が築いてきた生活、仕事、家族の絆を、すべて破壊してしまったのです。また、避難生活によるストレスの大きさも尋常ではありません。その後続いた、弁護士二人による、事実の説明と、避難した原告の方たちの生の声の読み上げの中でも、そのことがありありと語られていました。

自然災害と原発災害は違うのです。地震や津波の被害は、いくら大きくても、その後の復興に希望が持てます。しかし、原発災害の場合、そうはいきません。放出された放射性物質は長い期間周囲を汚染し続けます。そして、今も原発からは汚染水が流出しているのです。そこに大きな地震でもくれば、いったいどうなるのか？ さらに、体内に取り込まれた放射性物質による内部被ばくの問題もあります。

### マスコミは、伝えない

約45分で第2回公判が終了した後、少し離れたビルに移動して報告会に参加しました。公判の間、傍聴にもれた方のために模擬法廷がそこで行われていたとのこと。原告団、弁護士による裁判の報告が行われた後、会場にマイクが

回され、京都や神戸で同様の訴訟を行っている原告団代表の方や、たくさんのサポーターの方のお話を聞きました。

いきなりマイクを回された京都の大学生が、「言葉がありません。僕自身どうしたらいいのか」と言いながら、「皆さんがこういう場所に集まり、先頭に立って言葉を発しておられるのが、僕が言うのもおかしいのですが、誇らしく感じます」と発言。それを聞いて、思わず膝を打ちました。

原発事故で暮らしを破壊され、否応なしに当事者とされて、国と大企業を相手に精一杯たたかっている、原告団の方たち。よくやってくださった、がんばって！と思うのです。奪われた生活と未来を取り戻すために、あきらめず立ち上がったということ。これは、決して他人ごとではありません。「どう生きるのか？」「本当に大切なものは何なのか？」この国に生きる私たち一人一人が、実は今問いかけているのです。

しかし、マスコミはこのことを伝えません。選挙の最中、原発問題について思い出させるような報道はよくないというのでしょうか。今回の訴訟の原告団は、原発事故の際に事実を伝えられなかったという、非常に苦い経験をしています。

都合の悪い問題は報道しない、知らせない。では、問題の近くにいる人が、その場に行って、自分の見たこと、聞いたこと、考えたことを、伝えていけばいいのです。

次回の裁判は、3月5日（木）午後2時から。2015年の手帳に予定を書きました。

(文／とよたかあきえ 写真／たけぞうさん)

(\*) 抽選券を配っていた職員さんに聞くと、傍聴希望多数で抽選を行うことは、ひと月に十回くらいあるのだそうです。

LIPが選ぶ

# 今月の五行歌

桜の落ち葉

一枚

鮮やかに

暑かった夏の日を記す

こげ茶色

わたしらも

紙められたもんや

縁もゆかりもない

佐藤ゆかり氏が

枝方に立つとは

バスの中

ようしゃべりはる

おばちゃん二人

ふうん

マヨネーズは控えてるん

ビチ

さなぎ

翠

【五行歌ひらかたミニ歌会】  
☆毎月一度月曜日午前10時半〜12時半、メセナひらかた諸  
活動室で集まっています。  
問合せ akkie.toyotaka@gmail.com  
または、090-5893-5635 (とよたか) まで



## イベント・サークル・ボランティア情報

## ★無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ！

- ・定期販売（くずはパンやさん「マームベランダ」さんにて）  
2014年12月29日（月）10:00～
  - ・バザー（枚方市役所前）  
2014年12月22日（月）10:30～  
2015年1月19日（月）10:30～  
2015年1月27日（火）10:30～
  - ・労働センターでフリーマーケット開催！（枚方市中宮山戸町  
10-12-101）  
2015年1月27日（火）10:00～ 他団体も出店予定です♪
- ★2015年オリジナルカレンダー好評販売中！！  
1本 1,000円（送料無料）よろしくお願ひ致します^^

問い合わせ先（障害者労働センター：072-848-0508まで）

◎「子どもの発達・成長と読書について」  
同志社女子大学非常勤講師 川上博幸氏

<川上博幸氏 プロフィール>

35年にわたり、枚方市公立図書館職員・館長を歴任し、今も大学や日本各地で講演。ながら子どもたちに直接本を手渡し続けてきた豊富な経験から、子どもの育ちと本の出会い、子どもと読書のかかわり、子どもと本をつなぐ、など幅広い内容では、その「川上節」にファンが多い。

○2015年1月15日（木） 10時～12時

○ラポールひらかた

○1500円

○保育あります。5日前までにご連絡ください。

○問い合わせ・申し込み

「こどもと本」香里ヶ丘市民学級

西原TEL&FAX 072-845-3615

更谷TEL&FAX 072-848-3984

## ・知的障害児を普通高校に北河内連絡会 2月定例会

○日時 2月1日（日）午後1時半～4時半

○会場 ラポール枚方 2階集会室2

- 内容 ・受験生最後の学年生活と相互の情報交換
- ・医療的ケアの要する生徒について
- ・3月学習会に向けて企画検討（時間があれば）
- ・その他

受験が間近です。皆様お誘いあわせの上、ふるってご参加をしてくださるようお願いいたします。

## 天の川とんどまつり

日時：平成27年1月10日（土）午前10時30分～午後2時頃

（小雨決行。強風などの場合は中止。順延はありません。）

場所：天津橋上流可川敷（スーパイズミヤ裏）

予定プログラム（都合により変更になる場合があります）

●10時30分頃 開会式

●11時00分頃 お焚き開始（点火）

●（随時）和太鼓・歌・空手演武・南京玉簾 など

しめ縄、しめ飾りなど、お正月のお飾りをご持参ください。

（主）みかん・プラスチック類は燃やせませんので、ご自宅外へ外してきていただきますようお願いいたします。

☆甘酒のふるまい・ぜんざい・餅つき・東日本大震災の被災地支援ブースなど

☆和太鼓など、各種イベントもお楽しみください。

主催：天の川七夕まつりの会

共催：黎明塾 百済寺を考える会・和太鼓 龍の会

ひらかた七夕ゆめのほしプロジェクト

協賛：山歩き会の会・歴史散歩の会（50音順・随時追加）

後援：枚方市・（公財）枚方市文化国際財団（申請中）

（特活）ひらかた市民活動支援センター・（特活）枚方文化観光協会（申請中）

問合せ：天の川七夕まつりの会（土井）090-3280-4711

## ◆【参加者募集】連続学習会「特別支援教育って、本当にうちの子にいいことしてくれるの？」

小学校入学、中学校入学、心配ですか？

「うちの子、みんなについていけるかな？」

「学年が上がっても、ちゃんとうちの子に目を配ってもらえるのかな？」

大丈夫。しっかり子どもを見て、おうちでできること、学校にお願いすること、学校が家庭に期待することを整理して、子どもに寄り添って生きましょう。

日時・場所：

□第1回 1月14日（水） 午後1時～3時

ラポールひらかた4階 ミーティングルーム1・2

□第2回 2月4日（水） 午後1時～3時

□ラポールひらかた4階 ミーティングルーム2

□第3回 3月11日（水） 午後1時～3時

ラポールひらかた4階 ミーティングルーム3

講師：石打澄枝さん（元小・中学校教員）

定員：20人

参加費：無料

1回だけの参加も、連続参加もOKです。

託児はありませんが、子連れで参加してください。

申込み・問合せ：090-5893-5635（豊高）

c-k@love-dugong.net

主催：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

## みんなでつくる広場「ちょこっと」1月のイベント

1/7（水）開所12時～16時 歌。おしゃべり 100円

1/10（土）10時～12時 脳トレ 200円

1/14（水）12時～16時 ぜんざい 300円

1/17（土）13時半～15時 絵手紙サークル 200円

1/18（日）10時～14時 ちょこっとバザー

1/20（火）13時半～15時 習字サークル 100円

1/23（金）10時～12時 健康広場 200円

1/25（日）13時半～ みんなで歌おう・誕生会

参加費 300円（コーヒー・ケーキ付）

1/26（月）13時半～15時 はがき絵 200円

1/28（水）12時～16時 五行歌 100円

2月の予告

2/1（日）13時半～15時半 アコーディオンライブ

場所：楠葉野田公民館 300円

2/7（土）10時～12時 脳トレ

自転車修理は下記に電話でご相談下さい。

お問合せ 072-856-9439

ホームページ <http://tyokotto.justhpbs.jp/>

**LIPは、次の場所に置かせていただいています。**

## 枚方市

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3Fウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [招提南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ テール [西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾元町 6-39-15 lilian@kcatz.qa.jp]
- ★ 婦人洋品店 シャルム [南楠葉 1丁目 2-16 くずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ 街かどデパートハウス 藤阪愛逢 [藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび  
[南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオばべば [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [津田北町 2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際振興団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [津田東町 2-26-1 072-858-5835]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ばびるす [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャソース [牧野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ 渦潮ベーカリー楠葉店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 輝きプラザ「きらら」[車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たぐちゃん ビーコ [牧野南 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [牧野阪 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [牧野阪 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ MogalogaDining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [牧野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちょこっと」[楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパレイ枚方南 [津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ やすらぎの丘霊苑 [大字尊延寺 4588 番 4 072-896-1212]
- ★ 苺のいえ [甲斐田町 5番 25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660]
- ★ ちいさいまいくえん みんなの里 [楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]
- ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」[西禁野 2-8-3 072-848-8481]

## そのほか

- ★ フレッシュベーカーリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
- ★ えんてら村作業所 [交野市天野が原町 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所内メールネット [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町費田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]
- ★ 西宮男女共同参画センター ウェーブ [西宮市高松町 4-8 0798-64-9495]
- ★ ふらっとねやがわ [寝屋川市香里南之町 16 番 15 号 JAビル香里 4F 072-832-5580]
- ★ 大東市立生涯学習センター アクロス [大東市末広町 1-301 072-869-6505]
- ★ フェルデンハウス北斗星 [寝屋川市田井町 5-26 070-5435-1965]
- ★ 大阪市立青少年センター KOKOPLAZA [大阪市東淀川区東中島 1-13-13 06-6370-5421]

応援ありがとうございます！

# LIP応援団

杉永祐子さん 渡辺洋一郎さん

## LIP会計報告 (前号以降)

| 金額(円)  | 内容           |
|--------|--------------|
| 16,561 | 前号から繰り越し     |
| 500    | カラー印刷LIP売り上げ |
| 50,000 | くずはロータリー表彰金  |
| 12,000 | 広告代(1年間)     |
| 5,000  | 応援団寄付        |
| ▼492   | 郵送代          |
| ▼108   | 文具代          |
| ▼500   | 12月ロッカー代     |
| ▼4,210 | 12月号紙代 印刷代   |
| 78,751 | 計(次号へ繰り越し)   |

■明けましておめでとうございます。今年もLIPをよろしく願います♪

■原発賠償訴訟の記事を書きましたが、家でその話をすると、「原発を再開しなければ国の経済がたちゆかない」と考える夫と議論になります。かといって、「傍聴に行くな」などと言われるわけではありません。本当は、夫も「怖い」と思っているのでは？ そんなことも感じながら、自分の立ち位置を常に問われる気分です。(T)

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。いつでも原稿やボランティアを募集しています♪



「枚方市民にだけ」  
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索

イラスト 表紙、P. 6：平井由恵